

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業

北海道羅臼町

1. 目的

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」（令和2年4月20日閣議決定）の全ての事項、「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」（令和2年12月8日閣議決定）に掲げる新型コロナウイルス感染症の拡大防止策及びポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現の2つの事項並びに「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」（令和3年11月19日閣議決定）に掲げる新型コロナウイルス感染症の拡大防止、「ウィズコロナ」下での社会経済活動の再開と危機管理の徹底及び未来社会を切り拓く「新しい資本主義」の起動の3つの事項（以下「経済対策」と総称する。）についての対応として、地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに効果的・効率的に必要な事業を実施できるよう、地方公共団体が作成した新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施計画（以下「実施計画」という。）に基づく事業に要する費用に対し、国が交付金を交付することにより、新型コロナウイルスの感染拡大の防止や感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援、家賃支援を含む事業継続や雇用維持等への対応、「新しい生活様式」を踏まえた地域経済の活性化等への対応、ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現、社会経済活動の再開と危機管理の徹底及びポストコロナ社会を見据えた成長・分配の実現（以下「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援等」と総称する。）を通じた地方創生を図ることを目的としています。

2. 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

地方公共団体が作成した実施計画に基づく事業に要する費用のうち地方公共団体が負担する経費に充てるため、国が交付する交付金です。

3. 対象事業

実施計画を作成する地方公共団体が、新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援等を通じた地方創生に資する事業（経済対策に対応した事業）の実施に要する費用の全部又は一部を負担する事業となっています。

4. 交付限度額

各地方公共団体の交付限度額は、財政規模や人口、地方自治体の感染状況などから算定された地方単独事業分算定額のほか、国の補助事業等の地方負担分算定額等の合計額となっています。

5. 令和4年度分の交付限度額

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金通常分	100,560 千円
コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分	32,968 千円
電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金分	29,587 千円
合 計	163,115 千円

6. 令和4年度実績及び返還額

令和4年度交付限度額（上記）	163,115 千円
令和4年度事業実績額（別紙）	156,387 千円
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金返還額	6,728 千円



交付金を活用した事業の検証

No.	事業名	目的	事業実績	事業費 (千円)	交付金 (千円)	実施期間	効果検証	担当課
1	水道事業会計繰出金	羅臼町水道事業会計に繰り出し、外出自粛に伴う生活支援及び経済的負担の軽減並びに経済活動を支援します。	水道料金の一部減免措置による減収分を水道事業会計へ繰出。	22,000	22,000	R5.3.17 ～ R5.3.28	生活及び事業経営が厳しい状況と推測される中、水道料金の一部減免措置を行ったことで負担軽減となり、生活の安定及び事業経営の継続が図られています。	建設水道課 環境生活課
2	羅臼町総合プロモーション事業	GoToトラベルキャンペーン等の観光施策が再開する中、全国に向けて地域の魅力や観光情報を総合的に発信するため、テレビ番組を活用した町の知名度向上と観光振興を図ります。	羅臼町魅力を発信するためテレビ2番組を製作 ・一歩一円 6,100千円 (放送3回) ・日本のチカラ 5,500千円 (放送1回)	11,600	11,600	R4.4.1 ～ R5.3.31	羅臼町のPR事業として実施。「一歩一円」は食・体験・観光をテーマに製作し、視聴率4.5%で同時間視聴率1位となりました。また、令和4年5月の放送後の6月のふるさと納税の増額に繋がったほか、知名度の向上に繋がっております。「日本のチカラ」は羅臼高校の取組と移住をテーマに製作しております。朝5時半の放送とあって、視聴率は低かったが、羅臼高校の特色ある取組と移住者の活躍などの紹介でき、移住者の増加に期待できます。	産業創生課
3	学校等感染予防対策物品供給事業	町内の幼稚園、小学校、中学校、高校の学習保障及び感染症対策に必要な感染防止資材を購入し、感染予防を図ります。	使い捨て手袋、体温計、消毒液など感染症対策に必要な衛生消耗品の購入	1,537	1,537	R4.4.1 ～ R5.3.10	感染症対策に必要な衛生消耗品として、使い捨て手袋、体温計、消毒液等を購入したことで、児童生徒が安心して学ぶことができる体制整備が図られています。	教育委員会 (学務課)
4	学校ネットワーク環境整備事業	GIGAスクール構想の拠点となる学校の通信環境において、アクセスポイントの性能及び設置環境の改善により、多台数同時接続を可能にします。	知床未来中学校 無線アクセスポイント機器交換 23台設置	5,521	5,521	R4.4.1 ～ R4.12.23	高機能な無線アクセスポイントに交換したことにより、インターネット環境が改善され、一人一台端末を活用した授業を支障なく行うことができています。	教育委員会 (学務課)
5	消防活動等感染症対策整備事業	消防・救急活動時における感染防止対策のため、マスクや手袋等の感染症対策消耗品や傷病者搬送に伴う感染対策備品等を購入し、隊員の感染対策を図ります。	消防活動に必要な感染防止対策及びリモート会議実施の環境整備。 ・感染防止衣一式、アルコールタオル、エアウェイスコブ、吸引器、オゾン発生器、PC等	6,603	6,603	R4.6.22 ～ R5.2.28	感染対策の徹底により傷病者から隊員への感染を防ぐことができています。また、感染拡大地域での会議はリモートでの参加としているため、消防・救急体制の維持が図られています。	羅臼消防署
6	医療用抗原検査キット配布事業	福祉・介護や保育職員、教職員等社会機能維持者、感染地域等との往来者など、感染不安の解消と早期の自宅待機や医療機関への受診に結びつけ、早期の社会活動開始や社会機能の維持を図ります。	医療用抗原検査キット購入 ・総数：1,600キット	2,475	2,475	R4.6.22 ～ R5.1.18	感染地域等との往来や接触者等の不安の解消や、早期の自宅待機等の対応ができ、感染拡大防止になりました。また、社会機能維持者等の早期社会活動の復帰と維持につながっています。	保健福祉課

交付金を活用した事業の検証

No.	事業名	目的	事業実績	事業費 (千円)	交付金 (千円)	実施期間	効果検証	担当課
7	学校等医療用抗原検査キット整備事業	幼稚園や学校等で感染者が発生した場合において、園児・児童・生徒及び教職員へ抗原検査キットを配布し、検査することで感染拡大防止を図ります。	医療用抗原検査キット購入 ・総数：900キット	1,485	1,485	R4.6.22 ～ R4.12.5	購入した抗原検査キットを幼稚園や学校に配布し、感染状況を確認したことで、感染拡大、集団感染による、学級閉鎖の発生を抑えることができています。	教育委員会 (学務課)
8	公共施設等感染予防対策事業	不特定多数の利用が見込まれる公共施設の長期的な感染予防対策として、応接や打合せブースを仕切るパーティション等の施設内備品を整備します。 また、感染拡大地域への出張を避けつつも会議への参加や各種研修の受講、外出先等からのリモート会議参加など、オンライン体制の充実を図ります。	感染予防対策パーティション ・1階:14枚 2階:16枚 計30枚 一式 924千円 タブレット端末購入 ・surface 計3台 467千円	1,391	1,391	R4.6.22 ～ R5.3.31	応接セット及び打合せブース等をパーティションで仕切ることにより感染拡大の防止につながるとともに、タブレット端末の購入によりリモート会議の実施や参加などオンライン体制の充実が図られています。	総務課
9	羅臼町物価高騰対策特別定額給付金 【令和3年度補正予算分】	「コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策」を踏まえ、全世帯に臨時的な定額給付金を給付することにより町民の負担軽減を図ります。	町民一人当たり10千円を給付 ・対象人口：4,522名中 4,396名に給付 ・対象世帯：2,035世帯中 1,914世帯 ・給付総額 43,960千円 ・需用費 358千円 ・役務費 1,064千円 ・事業費計 45,382千円 ※内、令和3年度補正予算分	12,414	10,064	R4.6.22 ～ R5.2.16	給付率：97.21% 原油価格・物価高騰する中での給付であり、生活費用の負担軽減を図ることができました。 また、定期的にプレミアム付商品券の発行もあり、商品券の購入をすることで、更なる負担軽減につながりました。	産業創生課
10	羅臼町物価高騰対策特別定額給付金 【令和4年度予備費分】	「コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策」を踏まえ、全世帯に臨時的な定額給付金を給付することにより町民の負担軽減を図ります。	町民一人当たり10千円を給付 ・対象人口：4,522名中 4,396名に給付 ・対象世帯：2,035世帯中 1,914世帯 ・給付総額 43,960千円 ・需用費 358千円 ・役務費 1,064千円 ・事業費計 45,382千円 ※内、令和4年度予備費分	32,968	32,968	R4.6.22 ～ R5.2.16	給付率：97.21% 原油価格・物価高騰する中での給付であり、生活費用の負担軽減を図ることができました。 また、定期的にプレミアム付商品券の発行もあり、商品券の購入をすることで、更なる負担軽減につながりました。	産業創生課
11	羅臼町プレミアム付商品券等発行事業	感染拡大の収束を見極めたうえで、臨時定額給付金事業と同時にプレミアム付商品券を発行し、更なる負担軽減と町内消費喚起や飲食店の利用を促進します。	30%割り増しのプレミアム付商品券を発行 ・事業費：60,000千円に対する 30%プレミアム付商品券を発行 ・プレミアム分 18,000千円 ・商品券発行額 78,000千円 ・商品券使用額 77,942千円 事業費補助として商工会へ事務費含めて21,687千円を補助	21,687	21,687	R4.6.22 ～ R5.3.14	プレミアム商品券の発行により町内での消費拡大や町民の負担軽減が図られました。 また、コロナの影響で消費が落ち込んでいた飲食店等でも僅かながら利用があり、利用促進が図られました。	産業創生課

交付金を活用した事業の検証

No.	事業名	目的	事業実績	事業費 (千円)	交付金 (千円)	実施期間	効果検証	担当課
12	羅臼町プレミアム付商品券購入者還元事業 【令和3年度補正予算分】	プレミアム付商品券の購入者への還元と商品券の購入を促進するとともに、年末抽選会を開催し、町民生活の応援と地域経済の活性化を図ります。	商品券購入者還元事業として年末抽選会を実施 ・事業費（事務費含む） 3,053千円 ・事業補助金 2,000千円 ・対象者（商品券購入者） 2,718名 ・年末抽選会景品 438名分 ※内、令和3年度補正予算分	858	858	R4.9.14 ～ R4.11.30	プレミアム商品券購入者への還元として年末の抽選会を開催し、抽選会があることで、町民の利用促進が図られました。 また、景品を町内企業から購入しており、地域経済の活性化が図られました。	産業創生課
13	羅臼町プレミアム付商品券購入者還元事業 【令和4年度重点交付金分】	プレミアム付商品券の購入者への還元と商品券の購入を促進するとともに、年末抽選会を開催し、町民生活の応援と地域経済の活性化を図ります。	商品券購入者還元事業として年末抽選会を実施 ・事業費（事務費含む） 3,053千円 ・事業補助金 2,000千円 ・対象者（商品券購入者） 2,718名 ・年末抽選会景品 438名分 ※内、令和4年度重点交付金分	1,142	1,142	R4.9.14 ～ R4.11.30	プレミアム商品券購入者への還元として年末の抽選会を開催し、抽選会があることで、町民の利用促進が図られました。 また、景品を町内企業から購入しており、地域経済の活性化が図られました。	産業創生課
14	羅臼町運輸・交通事業者支援事業	原油価格が高騰する中、安定した物流の確保や災害時の緊急物資輸送、住民生活を支える地域交通の確保を図るため、運送及び交通事業者の事業継続に必要な費用を支援します。	①貨物自動車運送事業 ②一般乗用旅客自動車運送事業 ③一般乗合自動車運送事業 ④一般貸切旅客自動車運送事業者に補助金を交付 ・3t未満25千円 25千円×17台＝425千円 ・3t以上40千円 40千円×46台＝1,840千円 ・役 務 費 3千円	2,268	2,268	R4.9.14 ～ R5.3.24	運送事業者にとって燃料の高騰は大きな影響を与えており、所有台数に応じた支援は、事業継続が図られました。	産業創生課
15	幼児教育環境整備事業	幼稚園児及び教諭の陽性者が拡大した場合には閉園せざるを得ない状況となることから、保健衛生用品や抗原検査キットの整備により集団感染の発生防止を図ります。	使い捨て手袋、飛沫防止パネル、抗原検査キット等、感染症対策に必要な衛生消耗品の購入 ※国庫補助金：1/2 (幼児教育の質の向上のための緊急環境整備補助金)	939	471	R4.9.14 ～ R5.2.7	感染症対策に必要な衛生消耗品として、使い捨て手袋、飛沫防止パネル、抗原検査キット等を購入したことで、園児が安心して学んでいます。	教育委員会 (学務課)
16	羅臼町高齢者世帯等生活支援事業	原油価格や物価の高騰の影響を受ける低所得の高齢者世帯・障がい者世帯・ひとり親世帯に対し、その影響緩和を目的とする高齢者世帯等の生活支援として給付金を給付します。	低所得の高齢者世帯・障がい者世帯・ひとり親世帯 合計275世帯に2万円の助成を行った。 ・高齢者世帯 237世帯 ・障害者世帯 12世帯 ・ひとり親世帯 18世帯 ・生活保護世帯（65歳以上） 8世帯	5,637	4,143	R4.11.21 ～ R5.3.10	コロナ禍における原油価格や物価の高騰の影響を受ける低所得の高齢者世帯及び障がい者世帯、ひとり親世帯に対して、その影響緩和が図られています。	保健福祉課

交付金を活用した事業の検証

No.	事業名	目的	事業実績	事業費 (千円)	交付金 (千円)	実施期間	効果検証	担当課
17	羅臼町原油価格物価高騰対応・事業者支援事業	原油価格又は物価高騰により経済的な影響を受けている町内事業者の経営の持続を図るための支援として、補助金を交付します。	原油価格及び物価対策として、町内事業に補助金による支援を実施 <ul style="list-style-type: none"> 法人事業者：60千円 個人事業者：30千円 補助金 17,640千円 法人60千円×160件 =9,600千円 個人30千円×268件 =8,040千円 需用費 25千円 役務費 66千円 	17,730	17,730	R4.11.21 ～ R5.3.24	原油価格や物価高騰による経済的影響が大きく、町内事業者にとっては、補助金の支給により経営の持続が図られています。	産業創生課
18	水産物流通改善支援事業	水産物の流通を促進し、町内の消費喚起及び地域経済の活性化を図るため、「知床らうす海鮮福箱」の割引分及び事業事務費等を支援します。	知床らうす海鮮福箱の販売 <ul style="list-style-type: none"> 品代 @3千円×1,000個=3,000千円 梱包作業等委託料 374千円 消耗品費、郵便料 522千円 	3,897	3,897	R4.11.21 ～ R4.12.28	新型コロナ禍の情勢を鑑み、事業実施のタイミングにおいて、各事業者は在庫を持たない工夫や保管庫を一時空にし施設維持費を軽減するなどの対策を講じる一方で、観光客減少やイベント・物産展等の販売機会が損失している現状もあることから、それらを補填する取り組みとなっています。また、新型コロナ禍において町民に安価で水産物を提供できたことに加え、故郷らうす会等にも販売することで、町内水産加工品のPRにつながっています。	産業創生課
19	医療用抗原検査キット配布事業	町内介護施設等でもクラスターが発生しており、町民等への不安の解消や感染拡大を防ぐとともに、冬期間に向けた医療機関の負担軽減や社会機能維持者の業務継続を図ります。	医療用抗原検査キット購入 <ul style="list-style-type: none"> 総数：1,240キット 	2,410	2,409	R4.12.14 ～ R5.3.10	町内の介護施設や事業所でのクラスターが発生しましたが、早期のキットの確認で、感染拡大の抑制につながりました。また地域や学校での発熱者等有症者への配布を行い、診療所への負担軽減につながっています。	保健福祉課
20	学校等医療用抗原検査キット整備事業【追加分】	感染発生地域等との往来や修学旅行、部活遠征及び少年団活動等で児童生徒及び教職員から陽性者が確認された場合、医療用抗原検査キットの配布により早期の医療機関への受診に繋がります。	医療用抗原検査キット購入 <ul style="list-style-type: none"> 総数：690キット 医療用抗原検査キット購入（インフル同時検査） 総数：180キット 	1,535	1,534	R4.12.14 ～ R5.3.16	購入した抗原検査キット（インフルエンザ同時検査キット含む）を幼稚園や学校に配布し、感染状況を確認したことで、感染拡大、集団感染による、学級閉鎖の発生を抑えることができています。	教育委員会 (学務課)
21	感染症対策必需品整備事業	役場庁舎や道の駅等、不特定多数の来客が訪れる公共施設での感染症対策として必要な消耗品等の整備を行い、感染症予防及び感染拡大防止を図ります。	感染対策に要する消耗品等を購入 <ul style="list-style-type: none"> アルコールディスプレイ 10個 ペーパータオル 1,350個 キッチンペーパー 168個 	368	368	R4.4.1 ～ R5.2.14	不特定多数の利用者する公共施設での感染症対策として、カウンターやドアノブなどの消毒や手指の清潔のための必要な消耗品等を準備し、感染症予防及び感染拡大の抑制につながっています。	保健福祉課

交付金を活用した事業の検証

No.	事業名	目的	事業実績	事業費 (千円)	交付金 (千円)	実施期間	効果検証	担当課
22	訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金	コロナ禍における当町ならではの「野遊び（アウトドア）」を核としたロケーションを活かすため、キャンプ場施設の整備やプロモーションにより滞在型観光モデルの構築を図ります。	滞在型観光モデルの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・プロモーション 2,630千円 ・新たな観光コンテンツ検討 1,000千円 ・オートキャンプ場利便性向上等整備 3,680千円 トイレウォシュレット化 給湯設備整備、デッキ製作 コンテナハウス・看板設置 ・備品整備 661千円 テントポール、マット 給水タンク、ピザ窯、消火器 ・消耗品 516千円 	8,487	1,744	R4.6.22 ～ R5.2.24	新たな観光コンテンツの検討や野遊びフィールドの活用、プロモーション事業を展開しています。観光コンテンツでは、ナイト動物ウォッチングや知床半島ウォークなどを導入しています。親子向け体験もピザ体験や火起こし体験などのメニューの導入を検討中です。現在、プロモーションの作成ではSNSによる発信に活用中です。施設整備や備品整備は既に活用されており、一定の受け入れ体制は整ったものであり、一部ではあるが滞在型観光モデルの構築が図られました。	産業創生課
23	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金	新型コロナウイルス感染症等の影響により高騰しているエネルギー対策として、脱炭素社会の実現に向けた将来的な温室効果ガス排出量の推計や再生可能エネルギーの導入目標を設定します。	脱炭素社会の実現に向けた将来的な温室効果ガス排出量の推計や再生可能エネルギー導入目標計画を策定 ※国庫補助金：3/4 （二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金）	9,966	2,492	R4.6.22 ～ R5.2.24	2050年カーボンニュートラル実現するため、再エネ導入目標を設定することができ、推進するための具体案を作成することができました。	環境生活課
				174,918	156,387			